

第18号

2008年11月30日

発行

鷺山自治会連合会

鷺山まちづくり

協議会

# ふれあい鷺山

鷺山校区コミュニティー誌



## 盛り上がった運動会



### 校区の行事

● 12月26日～31日  
年末夜警(消防分団)

● 1月11日(日) 国際会議場  
新成人を 祝い励ます会

● 1月18日(日) 明德小学校  
出初式(鷺山分団梯子乗り)

○ 2月中旬 小学校家庭科室  
男の料理教室

○ 2月中旬 各地区  
ふれあいきいきサロン

◇ 12月21日・1月12日・  
2月15日 鷺山里山整備

### 住民自治推進大会で 表彰された

10月1日市文化センター  
で、永年勤続の自治会長表  
彰式がありました。当校区  
から、正木一丁目の桑原重  
雄、古川町の水野一、城  
見ヶ丘の宇野兩次の皆さん  
(いずれも昨年度で退任)が  
表彰されました。

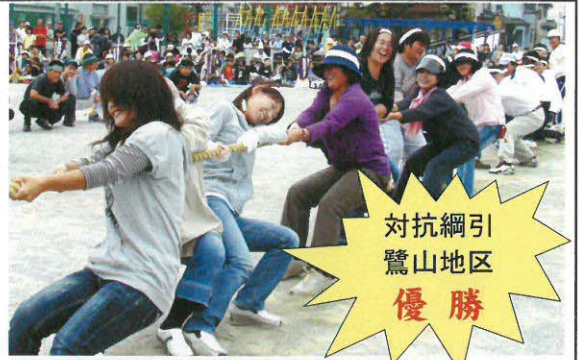
また市民参画賞では、若  
水町の平田正喜と、まちづ  
くり協議会の水野一、春  
日 明、高橋徳次の皆さん  
が受賞されました。





古川地区

今年の運動会は、青山の中学生が参加してアナウンスマでがんばってくれて、地域の活性化にまた前進がありました。(H.M)



対抗綱引  
鷺山地区  
優勝



正木地区



清洲地区



緑ヶ丘地区

もっと若い諸君！ **校区市民大運動会**  
10月12日 鷺山小 グランド





11月2日(日)校区文化祭が鷺山小学校体育館等で開催されました。

クラブ発表会か、市民文化祭か、もっと広い層の参加が望まれます。



化



文

特別展示として、鷺山遺跡の遺物が花を添えました。



祭

小中学生の作品も多数展示され、なかなかなものでした。



作品展示は昨年より数は減りましたが、出品作品はいずれも力作ぞろいでした。



公民館の和室では、恒例のお茶席が開かれ、大勢の人が楽しみました。校庭では、グラウンドゴルフ大会が行われ、若い女性も加わり45人が参加。



# 最高の五〇九人が出席 校区敬老会

9月15日(祝)鷺山小学校体育館で校区敬老会が行われました。今年度の対象者(76歳以上)は1231



名。うち509名の方が出席されました。また、金婚祝い対象者は、35組で賞状・記念品が贈呈されました。

式典後、民謡クラブの祝いの舞、大垣女子短大ブラスバンド演奏に加え青山中学校合唱部のコーラス、今年度は老人クラブ有志によるコーラスが新たに出演(写真)、お祝いしました。

最後は、お楽しみ抽選会があり、事故もなく無事終了しました。(Y・I)

## 金婚祝を受けられた方々

- 平野 勉・光子 谷藤正治・信子 澤部三郎・満智子
- 森崎新三・恭子 長屋正司・チヅ 鷺見峯男・ゆきゑ
- 星野昌史・廣子 若森 登・繁子 清水口淳・房子
- 武藤治雄・幸代 今西宏二・黎子 西尾 優・英子
- 神谷有三・隆子 安田法一・美和子 渡辺立身・房子
- 小森昌文・しず子 野田俊和・美代子 河島信治・はな子
- 川島仙一・光子 山崎三郎・美栄子 佐野欣一・かよ子
- 澤田昭夫・はるみ 北川邦穂・美代子 内山和男・説子
- 森 卓雄・てるみ 中島正行・邦江 若山光弘・みさ子
- 長屋正則・重子 山田文雄・政子 梅田 彰・道子
- 松田嘉彦・美智子 脇田孝幸・一枝 小池昌明・淑子
- 加藤春夫・暁美 加藤貞雄・てる子 (敬称略・順不同)



## 校区防災訓練

### 参加者が年々増加

## 本部で国際消防救助隊披露

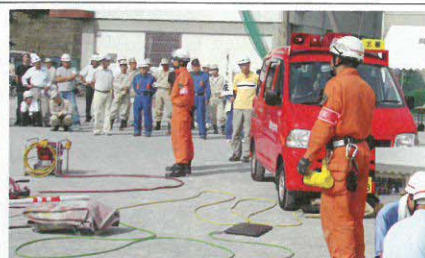
### 救助工作車の演習・地震体験車



校区自主防災訓練は9月7日、校区各地区、町内で、地域に合った訓練が行われました。当日、無線が前日のチェックにも関わらず交信できず情報収集に汗だく、非常事態の訓練になりました。小学校庭の本部では、地震体験車、救助工作車による救助訓練が披露されその素早い対応に感心させられました。日赤奉仕団と給食給水班による炊き出しもハイゼックスの他、炊き込みごはん、ポテトサラダが加わり種類が増えました。



国際消防救助隊の装備を披露



何でもこなす工作車



地震体験車



西正木



# 鷺山校区 昔むかし

⑤

## 平安時代末の鷺山

平安時代の末ごろから、律令の公地公民制度は次第に崩れ、税を納めない私有地(墾田)が増えてきます。都から離れていた鷺山も同じでした。墾田は当初は寺院や、開墾を進めていた地主が力を得て、やがてこの墾田を私有化して租税を納めなくても良い権利を得るために、より高位高官の貴族を名義上の所有者として朝廷の土地を調査に来る役人を立ち入らせない不輸不入の権利を得る荘園を形成していったので、朝廷の支配力が衰えてきます。

## 方肩郡下福光村が鷺山村か

平安時代中頃まで、長良川は因幡(いなば)川と呼ばれ、右岸北側、鳥羽川の左岸南側の間は、方肩郡方々郷と呼ばれていたようです。この地を実際に支配していた荘園所有者は、土地

に自分の名前をつけて治郎丸とか福富名と呼んでいました。江戸時代初期の「中島両以記文」にも、「長良の端より伊自良街道まで中福光、それより鷺山土居までは下福光なり」と記していますが、鷺山は古くは下福光と呼ばれ、土岐氏の流れを汲む福光氏一族が屋敷を構え農民を従え勢力を広げていたようです。

鷺山蝉遺跡の発掘では蝉土手城館と呼ぶ一辺120mの堀で囲まれた室町時代末期の城館跡が見つかりました。漆塗りの椀や将棋の王将駒や陶器・かわらけが発掘されています。この城館跡についても、このあたり

が、源氏源三位頼政の子孫の構えた侍屋敷が広がっていたという説明があります。

また、下土居北門遺跡では城門を想定できる大きな柱穴跡が発掘され、下土居正明寺城之前遺跡からは人工池の存在や、城館内に十六世紀初頭の頃の井戸跡が発掘されました。この井戸は直径60cm、深さ1.7mほどの穴で、井戸枠を「箆目(ざるめ)編み」という竹を編んで隙間を埋めた作り方の井戸でした。普通は腐って残らないもので、全国的にも貴重な発見です。

このように発掘された鎌倉・室町時代末期の遺跡は、発掘された地域が区画整理地域の調査ですから、時代時代の全容を理解することはできませんが、鎌倉時代以降には当時の鳥羽川・長良川の流路は相当安定し、遺跡は洪水で時代の重なりが乱れているものの、ほぼ層となって積みあがっていることが分かってきています。



正明寺城之前遺跡出土の井戸

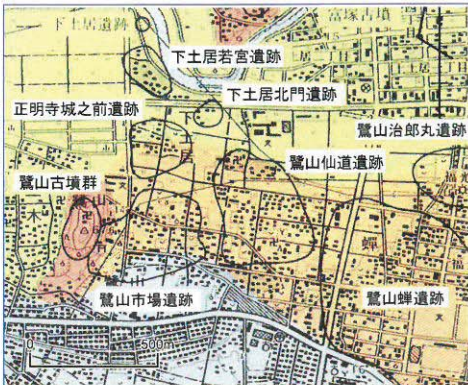
## 城館と東山道の位置

長良川の本流は今の鷺山本通りより南側を流れていたようです。古代の主要道路「東山道」も、現在の県道岐阜―大野線の近辺を通っていたと思われる、城館のある遺跡はこの道路にかぎ状に曲がった位置に置かれているようです。

岐阜城は、鎌倉時代に二階堂氏によって最初の砦が築かれましたが、築城して井ノ口城下町を繁栄させたのは鷺山にも関係する、斎藤道三です。金華山の麓の伊奈波から長良までの主要道路(かつての電車道)は、伊奈波―矢島町―本町―材木町―公園前―長良橋まで折れ曲がって通っています。斎藤道三は攻めてきた軍勢には山城や麓(現在、信長居

館跡の発掘調査中)の町を攻められないよう東西は細い道路、広い道路はかぎ状に通し因幡川に誘い、そこで迎え撃つという巧妙な戦略的な城下町を造りました。このような都市防衛的な館の造り方は、古くから行われていて、鷺山を通る「東山道」沿いの蝉土手城館遺跡、下土居北門遺跡、下土居正明寺城之前遺跡など発掘された中世期の屋敷跡との位置関係にも見ることが出来ます。

(水野 一)

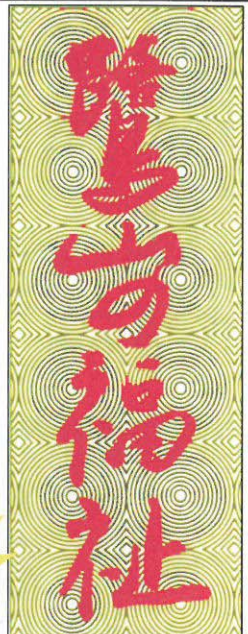


鷺山遺跡群地図

(地図・写真はいずれも岐阜市埋蔵文化財調査事務所提供)



蝉遺跡から大量のかわらけ



第30号  
発行  
社福協鷺山支部  
☎231-0040

### 健康講座

## やるまのいかに！ 今日から変える生活習慣

9月13日、午前10時より鷺山公民館において「健康講座」を社協鷺山支部、鷺山公民館共催、市北部ふれあい保健センターの協力のもと約80名が参加して開催しました。

はじめに保健センターの鈴木保健師から、岐阜市、鷺山地域及び鷺山小学校生徒における生活習慣病の現状について説明を受け、状況は年々変化しており、今まで無縁だと思われていた40代、30代更には子どもにまで危険が迫っていることを認識させられました。

次いで、米本武史歯科医師から「糖尿病と歯周疾患予防」生活習慣病予防は「健口から」と題し講演を受

け、高齢になっても自分の歯を持つことの大切さ、そのためには日頃の歯のケアが大切であるという大変参考になるお話を聞きました。

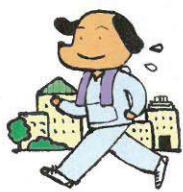


メモを取りながら熱心にお話を聴く皆さん（鷺山公民館で）

この後、内臓脂肪を減らす効果があるウォーキングの勧めと、これを更に効果的にするため少しの時間でどこでもできる筋肉トレーニングを、鷺山ウォーキングサークルの河合さんと筋トレサポーターの皆さん方が実演されました。

最後に、食改推協から適正エネルギーの食事摂取量や、一日一六〇〇カロリーの食事例、三五〇グラムの野菜（緑黄色野菜・その他）の目安を学びました。また、ジュース等ペットボトル一本に含まれる砂糖の量を自分の目で確かめ、その量の多さに驚きの声があがっていました。

生活習慣病は、自分の体調変化に気付き、食生活や運動習慣を見直すことで予防できると実感しました。



## 男の料理教室

### ハーブの香りを我が家の食卓に!



30代〜70代までの幅広い年齢層の男性が参加しています。（北市民健康センターで）

恒例となりました、今年度第2回「男の料理教室」を9月20日、岐阜市北市民健康センターで24名が参加し開催しました。

最初に、食改推協から生活の改善方法などの話を聞き、料理を楽しむました。

今回は、従来の健康志向型の料理とは違い、家庭で誰でも簡単に作れる「ハーブを使ったイタリア料理」に挑戦しました。

この日のメニューは、「きのこのガーリックスパゲティ」、「ミネストローネスープ（トマトベースの

野菜スープ）、「イカのサラダ」、そしてデザートは「旬の果物・梨」の4品。

食改推協の皆さんのサポートを受けながら、慣れない手つきながらも約一時間半がかりで完成させた後、試食を楽しみました。

反省会では、「今日の料理ぐらいなら自分で作れそうだから是非、家族に食べさせたい」との意見も出るなど、皆さん大満足で和やかな中、終了しました。

緑丘地区 (10月22日) 41名



今年度第1回「ふれあいいきいきサロン」を鷺山校下5地区の公民館で10月18日～30日に自治会長、民生委員、日赤奉仕団、食生活改善推進協議会、老人クラブなどの協力を得て開催し、各地区工夫を凝らしたメニューで楽しいひとときを過ごしました。

市社協北部の野寺、野々村コーディネーターからは楽しいお話や手を使った運動などで笑いを誘い、北部ふれあい保健センターの鈴木保健師からは脳卒中の予防法を、包括支援センターからは介護予防のお話を、又、正木地区では最近急増中の振り込め詐欺事件の被害予防法を北警察署の広瀬係長から説明を受け、皆さ

藤沢音楽療法士の指導で童謡や懐メロを合唱しました。音楽に合わせて手や指を動かす運動で楽しんだ後、ビンゴゲームを楽しみました。最後に、お茶とお菓子をいただき、ふれあいを深めました。

鷺山地区 (10月18日) 76名



食改推協桑原さんから、健康講座と同様、カロリーを考慮した1日の食事例と、野菜摂取量の目安、また、ジュース等に含まれる砂糖の量についてお話を聞きました。ビンゴゲームを楽しんだ後、食改推協と民生委員さ

ん手作りのデザート、ババロアとお茶をいただきました。

ふれあいいきいきサロン

ん真剣に耳を傾けました。

古川地区 (10月30日) 84名



市社協野寺コーディネーターの指導で風呂敷を使った買い物袋作りに全員で挑戦。包括支援センター遠山さんの介護予防のお話を聞いた後、藤沢音楽療法士の指導で童謡や懐メロを合唱。音楽に合わせ座ったままでできる

清洲地区 (10月29日) 78名



市社協野寺コーディネーターから健康に関わるお話を、包括支援センター酒井主任から介護予防についてお話を、社協支部長谷理事から漢字パズルで頭の体操をしていただきました。また、食改推

正木地区 (10月29日) 122名



野村老人クラブ連合会長の「グーチョキパー」で笑いと脳の活性化を図った後、有志の皆さん方の舞踊、カラオケで場が大いに盛り上がりました。昼食は食改推協、民生委員さん手作りの

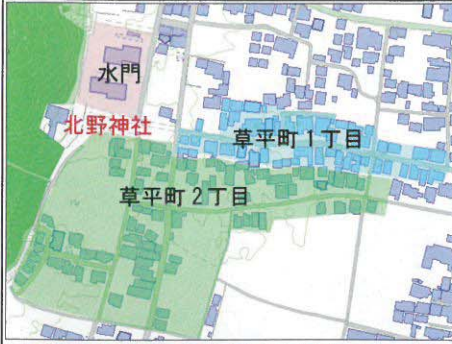
のにおにぎり弁当をいただきました。午後からの食改推協桑原さんによる「目で見てビックリドリンクの砂糖の量」では、ペットボトルに含まれる砂糖の量の多さに驚きの声…。最後にビンゴゲームを楽しみました。

協の桑原さんからは、鷺山地区同様、栄養面から見た食事量などについてのお話を聞きました。ティータイムでは、食改推協と民生委員さん手作りのデザート、ババロアとお茶をいただき、ビンゴゲームを楽しみました。

手や指の運動を行いました。

その後、日赤奉仕団、民生委員さん手作りによる古川地区自慢の炊き込みご飯と松茸のお吸い物をおいしくいただきました。





北野神社の茅の輪くぐり  
 (取材協力 矢島久男さん、森田比沙子さん)

秋は、自治会長さんが大変忙しい。夏祭りが終わったと思ったら、防災訓練、敬老会、運動会、いきいきサロン、文化祭、クリーンシティぎふと立て続けに行事がある。他にも会の作業があり、それぞれ前もっての準備、お願い、確認と当日の作業。それでもクレームが入り右往左往。自治会長さんを助け合っただけならなあと。お時間のある方、自治会をお手伝いすれば一日が充実しますよ。本誌も行事を追かけ大忙し。①

鷺山の東の麓に北野神社があります。その参道のように東へ細い道路が延びています。この道はもと堤防で高さが2m位あったそうですが、これを崩して宅地にしたとのこと。

昭和25・6年頃から、家が建ち出し、もともとは自治会が一番地でしたが、家

が増えてきたので、鷺山2丁目の三角公園手前までを分離、昭和43年、近くの草平庵に因んで、草平町自治会に。家が立ち並び、結構「街」だったそうで、八百屋さんもあったという事です。

その後、その南から山の方に家が建ち増えてきたので、草平町を1丁目と2丁目に分けたようです。

昭和54年頃、NTTの2棟32戸のアパートが建ち、ここだけで自治会が出来、このあたり一帯の小字名が水門ということから水門自治会となりました。

昭和36年に小学校の南に地下道が出来、通学路が順に南へ伸びていきました。

北野神社は明治44年鷺山字市場から現在の地に移転しました。鷺山の村社で、

昭和43年、明治百年を記念して造営され、天神様で、梅の木があり、菅原道真の句碑もあります。

大晦日から初詣にかけては大勢の人のお参りがあります。1月15日には左義長で、餅を焼きに人が集まり、春は何といつても一帯の桜がきれいで、花見の人が訪れます。岐阜祭りには北野神社から神輿が出て、町内を巡行します。

7月末の日曜日には、茅の輪(ちのわ)の神事が行われます。夏越祓(なごし)はらえ)行事で、真狐(まこも)で輪を作り、この輪「茅の輪をくぐって病を除き、夏を健康に過ごす神事」という伝統風習が残っています。



昭和43年、明治百年を記念して造営され、天神様で、梅の木があり、菅原道真の句碑もあります。

大晦日から初詣にかけては大勢の人のお参りがあります。1月15日には左義長で、餅を焼きに人が集まり、春は何といつても一帯の桜がきれいで、花見の人が訪れます。岐阜祭りには北野神社から神輿が出て、町内を巡行します。

鷺山字名あきをめぐり  
 市場(いちば)  
 鷺山城址の東麓に市場という小字名がある。市場は物資の交換取引の場所であり、古代の五く六世紀ごろから大和地方(奈良県)では市が開かれていた。その後、全国各地でも市場が開かれ、現在、その場所が地名として残っている。近県では、四日市(三重県)・八日市(滋賀県)、市内では古市場(黒野校区)・一日市場(合渡校区)がみられる。市は定期的に日を決めて開かれ、月に三回(三斎市)・六回(六斎市)が普遍的であった。古記録(中島西以記文)には、土岐頼芸・斎藤道三が鷺山在城時代、城下には家臣・商工業者の家が道をはさんで建ち並び、堀田(長良)付近まで続いていたと記す。余談ながら、市の語源は神の祭祀「斎(いつき)に由来するといわれ、三斎市・六斎市の基になっている。市場には市の繁栄を祈る「市神」(大國主命・大黒天など)を祭っていた。

(加納 宏幸)  
 今回で終ります

11月16日に行われた「ふるさとふれあい活動」の中で、5年生は、しめ縄作りの手ほどきを受けました。物を作るこの大変さと伝統の尊さを心と体で感じとった様子でした。(H.W)



しめ縄作りに挑戦した5年生

編集後記